

## 6 . e ラーニングでの履修方法

### 1 ) e ラーニング web サイトへのアクセス法

医学教育部（博士課程）では、一部の講義を WebCT を使用した e ラーニングで提供します。

WebCT とは広く使われている LMS ( Learning Management System ; 学習運営システム ) の 1 つで、インターネットを利用した授業や学習を実施できるシステムです。学生はパソコンを使って講義にログインすることで、いつでも好きなときに教材を閲覧し、テストを受けることができます。WebCT は、Internet Explorer や Firefox などの Web ブラウザを通して利用します。従って、Web ブラウザの入ったパソコンとネット環境があれば、講義に参加することが可能になります。

手順：

熊本大学ポータル (<http://uportal.kumamoto-u.ac.jp/>) にアクセスし、熊本大学統合認証システムへログイン。(ユーザー名：学生番号； パスワード：自身で変更していない場合は SOSEKI のパスワード)

「熊大ポータル」タブの右列の「e ラーニングシステム Web CT」をクリックし、「My blackboard」画面に入ります(または「時間割」タブをクリックすると、学務情報システム SOSEKI に登録済みの履修科目が表示されます)。

My blackboard には SOSEKI で登録した授業科目名の一覧が載っています。授業科目名をクリックすると、Web CT 上の当該授業科目のトップページ(科目内の講義リスト)が表示されます。

各講義ページに入り、講義ビデオと配布資料を利用して学習します。その後、理解度テストを受け、合格点に達するとその講義の受講が完了したことになります。受験後、理解不十分な箇所を確認し、再学習し、合格するまで何度でも e ラーニング履修しテストを受けることができます。

詳細マニュアルは熊本大学 e ラーニング推進機構ホームページ

([http://www.iel.d.kumamoto-u.ac.jp/02\\_lms/manual.html](http://www.iel.d.kumamoto-u.ac.jp/02_lms/manual.html)) よりダウンロードして下さい。

### 2 ) e ラーニングの分類に関する説明

e ラーニングによる講義については、eE-0, eE-L, eJ-0, eJ-L, eEJ-0 および eEJ-L の 6 種類が、ありますので注意してください。

e ラーニングコンテンツに利用されている言語による分類

eE：英語で作成された e ラーニングコンテンツ

eJ：日本語で作成された e ラーニングコンテンツ

eEJ：英語と日本語を混ぜて作成された e ラーニングコンテンツ

e ラーニングコンテンツの講義への利用法による分類

-0：対面講義を実施することなく、e ラーニングでのみ開講する講義

-L：対面講義が主体で、講義を受講できない学生に対して、補講として e ラーニングの受講を認める講義

日本語の e ラーニングコンテンツしか利用可能でない、eJ-0 および eJ-L の講義については、履修生に日本語を理解できない留学生がいる場合には、英語(+日本語)による対面講義が実施されます。この対面講義は収録されて、将来 eE あるいは eEJ として利用されることがあります。

e ラーニング分類の例示

eJ-L とは、対面講義を受講することを原則とするが、受講できない場合は、日本語で作成された e ラーニングコンテンツを補講として受講できる講義を意味します。なお、履修生に日本語を理解できない留学生がいる場合には、対面講義は英語(+日本語)で実施されます。